

祝福の中に歩む「コーヒーマワー」

コーヒーマワー委員会

緑豊かな東久留米市を中心として、主に東京の西部地域で三〇年間福音宣教の働き一端を担わせていただいている「コーヒーマワー」という名前の小さな集会があります。これは地域の諸教会と協力してキリストの福音を社会に広く伝えるための集会で、人々を教会に導くことを目的として一九七九年にアメリカの宣教師婦人たちの発案によって発足しました。現在は七名の日本人の女性たちが委員会のスタッフとして福音のメッセージと賛美による「コーヒーマワー」を企画・構成し、CAJ（クリスチャンアカデミー インジャパン）の講堂を学校が休校で行事が何もないことを条件に会場としてお借りし、年に二回程開催しています。これはその活動報告です。

「コーヒーマワー」の始まり

第二次世界大戦が終わって間もなくのこと、アメリカのカンサスシティで「BIBLE COFFEE HOUR」「聖書コーヒーマワー」という集会が誕生しました。この集会を日本でも広げよう。そう考えたのが当時、東久留米市、清瀬市、所沢市などで活発に活動していた宣教師婦人たちでした。日頃宣教師婦人たちは、近隣の人々のために自宅を開放して献身的に、「英語聖書クラス」や「英会話」などに力を注いでいました。その中で気付かされた強い願いがこの福音宣教のための働きでした。ですから、東京の多摩西部地域がその対象となったのは、自然の流れだったといえましょう。これが「コーヒーマワー」の始まりです。

発起人を交えた七名の宣教師婦人たち、フォックス夫人、メットカフ夫人、シャロン・フォーブス夫人、カロール・シエルトン夫人、サンデイ・アモス夫人、イレイン・ヘギー夫人、フイーベ・ブレア夫人、それに日本の婦人数名が加わって一九七九年初めての委員会が開かれ、コーヒーマワー発足の年となりました。

日本の婦人の中にはアメリカから帰国した英語に堪能な人がいて、話し合いは両国語が入り混じるミニ国際会議の様相でした。委員会は和やかな雰囲気の中、熱く真剣に行われました。委員会が発足した翌年一九八〇年六月二五日、講師に田原米子さんをお迎えして、記念すべき第一回コーヒーマワーを開催することができました。会場は東久留米駅近くの静かな木立に囲まれたCAJの講堂です。この日、会場は満席以上の盛況でした。約四〇〇席の定員を超えて、補助椅子でも足りず、通路までが埋まるほどでした。以後二〇一〇年一月の第六五回まで、三〇年の歳月を重ねることが出来たのは何よりも先ず、主のご計画と強力なお導きがあったからにはほかなりません。

集会の内容とプログラムの構成

集会は一杯のコーヒーとお菓子をいただくコーヒータイムから始まります。午前九時半に受付が開始されると、来会者はまず食堂に案内されて、スタツプから暖かいコーヒーが振舞われます。親しい友人や久しぶりの知人たちとお交わりをしながら十時半の開演を待ちます。会場が隣の建物の講堂に移され、前奏のあと特別賛美が演奏されます。この特別賛美を聞いて心がほつと和らぎ、日常の喧騒からしばし離れて静まってメッセージを聞く心が備えられようように思います。音楽や賛美の持つ人の心に与える素晴らしい働きを主に感謝いたします。また会場の方々と共に賛美する会衆賛美も一体感を持つために大切なプログラムです。さらにフラワーアレンジメントその他の催し物が加わることもあります。その後、メインプログラムである福音のメッセージがゲストにお迎えした講師の先生によって約一時間語られます。このメッセージは企画の段階で一番力が入ります。今必要とされているテーマやふさわしい講師を決めることなど、月一回の委員会の中心的な議題です。

集会の構成の一つであるサプライズプ

レゼントも伝統になっています。楽しさも加えて変化のあるプログラムに気を配ることは、コーヒーアワーに重荷を負って大きな働きをした宣教師婦人たちから学ばせていただいたことです。手話通訳者にも早い時期から協力していただいております。手話での賛美は耳が聴こえるひとにとっても歌詞の内容がよくわかる方法だと思います。

宣教師婦人たちがそれぞれの事情で帰国されたり辞められたりして、スタツプの人数も少なくなり、来会者も減るなど、試練の時が七、八年続きました。この厳しい状況からスタツプ一同祈る者とさせられ、会の真の目的が話し合われました。その頃のスタツプで中心となつて真剣に会のことを考え、重荷をもつて祈られた今泉咲子姉のお働きは特筆されるべきことです。

アンケートなどから励ましを受けて

宣教師婦人によって種がまかれたこの宣教の働きを、止めることなく続けることがスタツプに課せられたことだと一同気が付かされました。今の困難な状況を集会に集う方々に訴えてみようとお手紙を出したこともありました。幸いなことにこの会

を覚えて応援してくださる方々にその思いが届き、主にある絆が生まれました。多くの方に祈られ支えられていることが書面や電話でまたアンケートを通して伝わってきました。多額の献金をしてくださった方もおられ、心強い励ましを与えられました。

アンケートは当日会場に來られた人に各項目別に書いていただくわけですが、それらは「教会へ行きもつとキリストについて知りたい。」「きょうキリストを自分の救い主として信じます。」「近くの教会を教えてください。」「などがあり、記入された方には各々連絡を取り、フオロアップもさせていただきます。

メロデーアワーについて

コーヒーアワーが開催されるようになって数年経つた頃、音楽を演奏するクリスチャンの方々素晴らしい働きが見られるようになりました。委員会ではそれまで集会の前半の一部であった特別賛美を拡大して、集会のすべてを音楽の演奏と演奏者の証しに充てるという形で集会を企画することがあります。それがメロデーアワーです。ご主人が癌で召されるまでご自

宅をスタッフの働きのために開放して協力されたアルマ・タイガート夫人が命名した集会で十一回続けられました。バリトン歌手やソプラノのオペラ歌手などの声楽家による演奏やピアノ、バイオリン、フルート、クラリネット、チェロ、ホルン、アルコーデオンの演奏など、多岐にわたっています。対象が婦人たちで午前中の集会でしたので声を出すのに苦労された声楽家たちの思いもよく耳にしました。また証しの時間を牧師のショートメッセージにして演奏者に休息していただいたこともありました。現在メロディーアワーは行われていませんが、通常のコーヒーアワーの中に賛美中心の証しコンサートとして行われることがあります。

結びに代えて

以前お招きしたゲストの牧師先生が、ご自分の教会の熱心な姉妹はノンクリスチャンの時にコーヒーアワーに集われていたと話され、これこそ私たちが願うところと主に感謝しました。この会はクリスチャンが福音を伝えたいと思う友人や身内の方々を、教会に誘うよりもっと気楽にお誘いし、福音を聞いていただいたその後に、

教会にもお連れ出来るようにコーヒーアワーを用いてくださり、クリスチャンも共に喜ぶ会にしていきたい、そのような会である事を願って進めております。主の祝福と多くの協力者の支援によって活動を続けている者たちですが、この会が次の世代の方々にバトンを渡すことが出来ますようにスタッフ一同力強く望み、主に心から祈っております。

(コーヒーアワー委員会)

- 加藤美知子
- 神谷聰子
- 小嶋淑子
- 高木充子
- 仁科弘子
- 松井敬子
- 室岡信江

(五十音順)

コーヒーアワー 集会記録

		講師	音楽	フラワーアレンジメント
第1回	1980/6/25	(水) 田原米子	堂面秀子	
第2回	1980/10/30	(木) 山本孝子	塩崎朋子	
第3回	1981/2/14	(土) 干場三英子		
第4回	1981/6/23	(火) 村上直道	本田稜子、萩原純子	
第5回	1981/9/19	(土) エウリン・クリスティンソン	飯島千雅子	
第6回	1982/2/22	(月) 金城マイク	関谷祐子	
第7回	1982/6/17	(木) 安部光子	堂面秀子	
第8回	1982/11/9	(火) 尾山令仁	ザ・メッセンジャーズ	
第9回	1983/2/26	(月) 斉藤良子	ヘアンテ・ホーマン	
第10回	1983/11/10	(木) 湊晶子	ヘアンテ・ホーマン	
第11回	1984/2/16	(木) 田原米子	干場三英子	
第12回	1984/11/8	(木) 篠原せつ		宇田紀代子
第13回	1985/2/14	(木) 岩永愛子	小林靖宏	
第14回	1985/11/7	(木) ダビデ・マーチン	竹之上幸子	
第15回	1986/2/14	(金) 小田彰		
第16回	1986/10/31	(金) 藤井圭子		宇田紀代子
第17回	1987/4/3	(金) 小松栄治郎	堂面秀子	
第18回	1987/11/6	(金) 堀越暢治	植木澄子	宇田紀代子
第19回	1988/6/28	(火) 工藤信夫	萩原純子	
第20回	1988/11/4	(金) 田中信生	ジョイフル・サウンド	宇田紀代子
第21回	1989/6/23	(金) 矢部登代子	近藤良	
第22回	1989/11/2	(木) 岩永愛子	植木澄子	宇田紀代子
第23回	1990/7/13	(金) 湊晶子	干場三英子	
第24回	1990/11/2	(金) 滝元明	ジョイフル・サウンド	宇田紀代子
第25回	1991/6/14	(金) 本田弘慈	片柳葉子	

第26回	1991/11/29	(水)	H・ブレア	ソング・ライズ・シンガーズ	宇田紀代子
第27回	1992/2/14	(金)	柿谷正期	ベス・ファーマン、福井朋子	
第28回	1992/6/18	(木)	須郷進	須郷進、栄子	
第29回	1993/2/23	(火)	横山幹雄		宇田紀代子
第30回	1993/6/17	(木)	中島美知子	キャロル、デボラ・フリーナー	
第31回	1994/2/22	(火)	スティーブ・タイガート	ヒロとリエ	
第32回	1994/6/17	(金)	丸山忠孝	金沢愛子	宇田紀代子
第33回	1994/11/25	(金)	中島修平	荒牧小百合	
第34回	1995/2/21	(火)	ウィリアム・ウット	植木澄子	
第35回	1995/6/16	(金)	辻岡健象		宇田紀代子
第36回	1996/2/20	(火)	内田みずえ	ハーリー・ウェストバーグ	
第37回	1996/11/29	(金)	福沢満雄		宇田紀代子
第38回	1997/2/17	(月)	川端光生	植木澄子	
第39回	1997/6/13	(金)	新垣勉	(証しコンサート)	
第40回	1998/2/24	(火)	佐藤彰	池田周、五月女淳子、広川恵	
第41回	1998/6/30	(火)	石井正治郎	ケン、ホーラ・テイラー	
第42回	1998/10/9	(金)	榊原寛	植木澄子	
第43回	1999/2/16	(火)	内田和彦	大津孝行、小川かおる	
第44回	1999/6/24	(木)	ダビデ・マーチン	星由美	
第45回	2000/3/3	(金)	森本春子		
第46回	2000/11/24	(金)	坂野慧吉	田尻一子	
第47回	2001/3/2	(金)	三谷康人、君子	田尻一子	
第48回	2001/11/22	(木)	堀 肇		宇田紀代子
第49回	2002/3/1	(金)	岩井基雄	ザ・チェンバー・シンガーズ	
第50回	2002/11/28	(木)	稲垣俊也、遠藤久美子	(証しコンサート)	
第51回	2003/6/27	(金)	三浦光世	神谷ゆりえ	
第52回	2003/11/28	(金)	羽鳥明		宇田紀代子
第53回	2004/6/25	(金)	山口昇	西脇達子	
第54回	2004/11/26	(金)	水谷恵信	塩谷達也、佐藤五魚	
第55回	2005/6/16	(木)	中川健一	西村信子	
第56回	2006/4/14	(金)	松岡広和	角田能子、斉藤とし子	
第57回	2006/11/24	(金)	本田路津子	(証しコンサート)	
第58回	2007/6/15	(金)	安海靖郎	加藤麻衣、高橋満基	
第59回	2007/11/22	(木)	村上宣道	山路ゆう子、ミチル&まこと	
第60回	2008/6/20	(金)	泉田昭	山本多美子	
第61回	2008/11/28	(金)	工藤篤子、佐伯尚子	(証しコンサート)	
第62回	2009/7/3	(金)	佐竹十喜雄	ジョイン	
第63回	2009/11/26	(木)	武井博	藤平久代	
第64回	2010/7/2	(金)	宮嶋裕子	水上えりか	
第65回	2010/11/26	(金)	大川従道	クラウト・ハイ・デイ	

メロディーアワー 集會記録

			講師		
第 1回	1986/6/19	(木)	柳瀬洋、佐和子、ヘアンテ・ホーマン、小林靖弘		
第 2回	1987/6/19	(金)	田野秀康、道子、鈴木洋子		
第 3回	1988/4/1	(金)	今仲幸雄		
第 4回	1989/2/17	(金)	宮田四郎		
第 5回	1990/2/15	(木)	柳瀬洋、黄雲亮、崎山裕子、蜷川いずみ		
第 6回	1991/4/4	(木)	小坂忠、岩淵まこと		
第 7回	1992/11/10	(火)	胡美芳		
第 8回	1993/11/22	(月)	中西規夫、和世子、蜷川いずみ		
第 9回	1995/12/9	(土)	高橋薫子	(ショートメッセージ:丸山軍司)	
第10回	1997/11/27	(木)	森祐理		
第11回	1999/11/25	(木)	竹之内圭子	(ショートメッセージ:加藤正之)	